

**PRESS RELEASE (2026/01/16)**

## 九州大学病院における脳死下心臓移植実施数が 100 例に到達しました

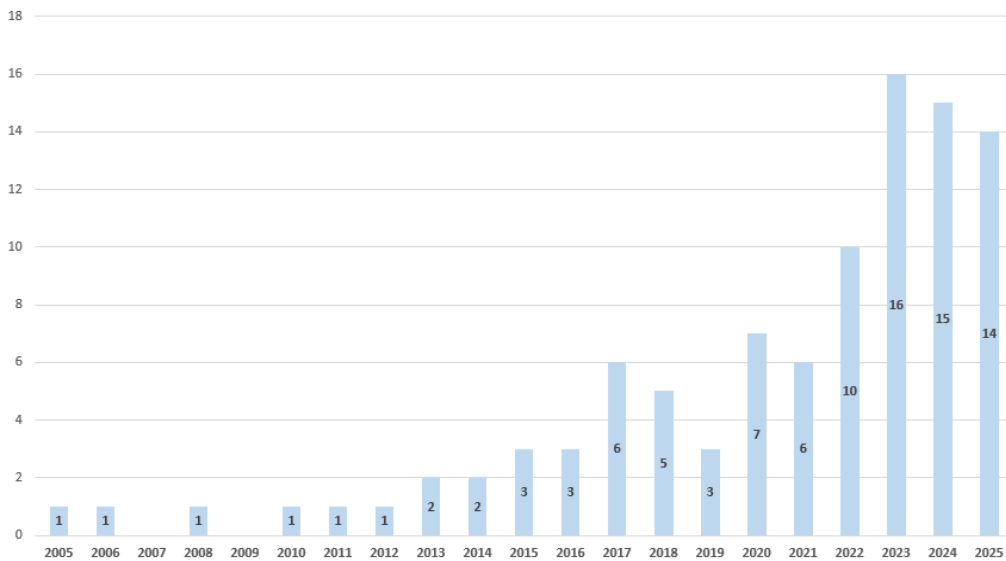
2026 年 1 月 11 日、九州大学病院における脳死下心臓移植実施数が 100 例に到達しました。心臓移植は、最重症の心臓病の患者さんに、ドナーの善意により提供された心臓を植え込むことで全身への血液供給を回復させ、寿命を延ばすのみならず社会復帰をも目指す治療法です。

現在、一年間に世界でおよそ 6000 人、日本国内でおよそ 100 人超の患者さんに対して心臓移植が行われています。

九州大学病院は 2003 年 6 月に心臓移植認定施設に承認され、2005 年 2 月に九州で初めて心臓移植を実施しました。近年は毎年 15 件前後の移植を実施しています（図 1）。

心臓移植を実施できる機関は、全国 12 施設（九州では当院のみ）※と限られており、当院は移植医療における重要な役割を担っています。今後とも、九州唯一の心臓移植施設として尽力してまいります。

※2025 年 8 月 27 日現在、日本臓器移植ネットワークによる



（図 1）心臓移植実施件数の推移（実施開始～2025 年まで）

心臓血管外科 塩瀬明教授よりひとこと：

当院心臓血管外科における脳死下心臓移植実施数が 100 例に達しました。今後も九州唯一の心臓移植実施施設として、患者さん第一をモットーに、信頼のできる医療を提供すべく尽力いたします。



心臓血管外科のメンバー